



平成28年8月8日

各位

上場会社名 株式会社 タカギセイコー
 代表者 代表取締役社長 八十島 清吉
 (コード番号 4242)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 林 延幸
 (TEL 0766-24-5522)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,500	50	△170	△310	△23.03
今回修正予想(B)	20,330	820	540	180	13.37
増減額(B-A)	△170	770	710	490	
増減率(%)	△0.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	22,446	△151	△330	△328	△24.39

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、当社が現在進めています構造改革計画の対応方針にある「即効性のある売上高の確保」による活動成果並びに海外における車両及びOA分野の受注が好調に推移しているものの、当初の想定為替レートに対して円高で推移したことによる邦貨換算の減収影響により、前回発表の20,500百万円を0.8%下回る20,330百万円の見通しとなりました。

一方、損益面では、邦貨換算の影響を除いた売上高の増加並びに構造改革計画の対応方針にある「即効性のあるコストカット」及び「効率生産体制の確立及び不良削減」の活動成果等により、営業利益は前回発表の50百万円を770百万円上回る820百万円、経常利益は前回発表の△170百万円を710百万円上回る540百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表の△310百万円を490百万円上回る180百万円の見通しとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、国内外の経済状況に不透明感があるため変更しておりませんが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上